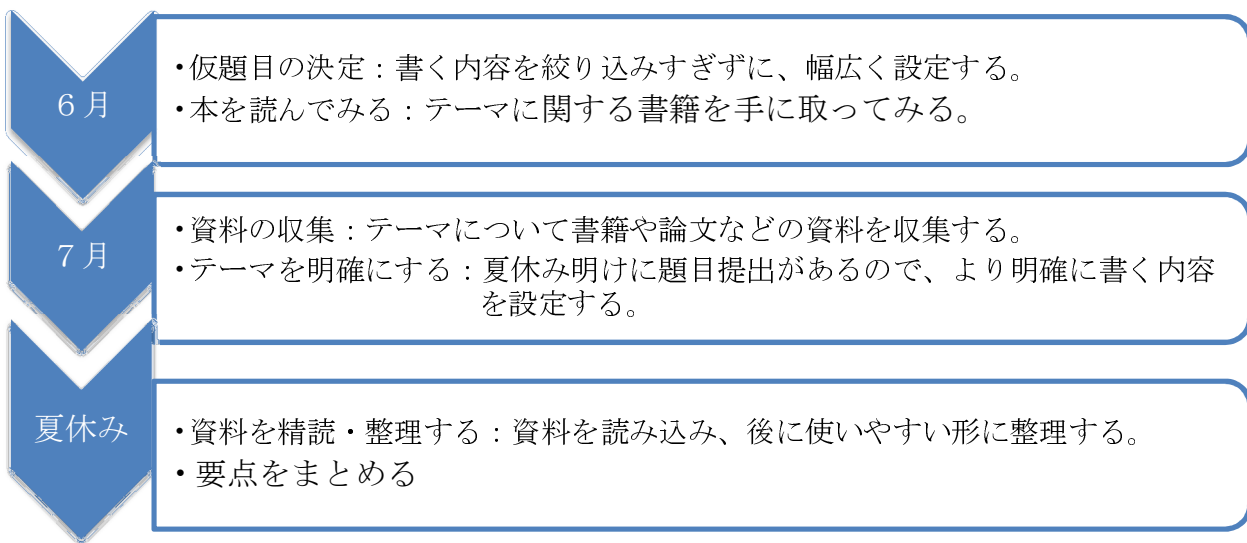


卒業論文の作成について

那須ゼミ修士一回生 三島晃真

皆さんの卒業まで残り 10 ヶ月程となりました。今回は私が卒業論文を作成していたときの体験と、作成後から今日に至るまでの反省を踏まえて、少しでも皆さんの卒業論文作成の手助けになるように、お話しさせていただきます。

6月から夏休みにかけて



○卒業論文で何を書いたらいいのか分からない・・・

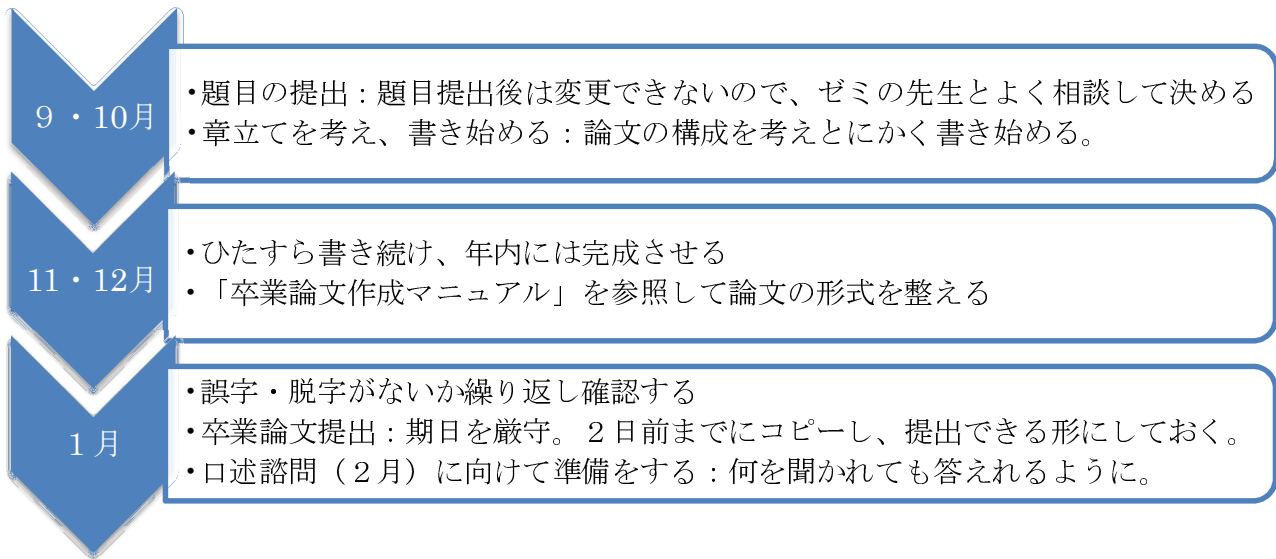
もちろん先生や先輩に相談することも大事だが、何も考えずに行っても、相談された方は何をアドバイスしたらいいのか分からない。まず、今まで受けた講義のノートやプリントを見返してみる。その中からいくつか気になる語句や重要だと思われる事項をノートに書き出す。そして興味のあることについて調べていく。またそのことについてどう書いていけばいいのか先生方に相談する。

○資料の収集・精読・整理について

資料の収集は早めに（必ず夏休みに入る前には）しておく。時期が遅くなればなるほど、欲しい本が借りにくくなる。コピーした資料、メモしたノート等をファイルに挟んでおくと紛失しない。書籍も必要な箇所はコピーしておく、書き込みができるのでオススメ。

テーマが定まったら、収集した資料を読み込む。その中で重要箇所や分からない単語などにはマーカーを引き、どんどん書き込む。付箋を貼っておくと、後から必要箇所をすぐに見つけることが出来て便利。また、資料をいくつかのファイルにカテゴリー別に分けると後で使いやすい。必要ないと感じた資料は、捨てずに一つにまとめておく。資料は1度だけではなく、繰り返し読むことで内容が頭に入ってくる。

9月から口頭試問にかけて



○論文を書く

まず章立てを考える。「章」はどのように論を展開させるか道しるべとなる設計図のようなもの。「この論文で何を明らかにするか」という問題意識を自分の中にもっていなければ、最初の問題提起と最後の結論が繋がらない。章立てする際には、問題提起からどのように結論に繋げるかイメージすることが大切。章を立てたら、とにかく書いていく。序章にこだわりすぎずに書けるところから進めていくことが重要。

必ず年内には書き終えること。年明けはパソコン室は満席、図書館の資料も借りられていてほとんどないと思って、早めに完成させる。完成したら卒業論文作成マニュアルを参照して、形式を整え、誤字や脱字がないことを何度も確認する。

○データの保存

バックアップはしっかりとる。USBの紛失や、パソコンが故障して期日までに出せなくても、通用しない。必ず複数のUSBに保存しておく。

◎卒業論文を書く際に重要なこと

- ・早めに取りかかり、毎日少しでも進める！！
- ・分からないことをそのままにせず、先生や先輩方に相談する！！
- ・年内に完成させる！！